

発行日 15-9-2016

Revision Date 22-1-2021

Revision Number 6

日本 / 日本語 (Japanese)

1. 製品および会社情報**製品特定名**

Product Name Release Agent
Product Code(s) 20-8185-002, 20-8185-008, 20-8185-016, 20-8185-032, 20-8186-004, 20-8186-032
(M)SDS番号 1350448_J

その他の識別手段

別名 情報なし
登録番号 情報なし

化学品の推奨用途及び使用上の制限

Recommended Use 情報なし
推奨されない用途 情報なし

安全データシート 提供者の詳細

製造者 Buehler
製造者の住所 住所: 〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 6F
電話番号 電話番号: 03-5439-5077
メールアドレス info.japan@buehler.com
法人 ITWジャパン株式会社
本店住所 本店住所: 東京都江東区北砂一丁目4番4号

緊急連絡電話番号

Global Access Code: 334545
Asia Pacific: +1 760 476 3960
Middle East/Africa: +1 760 476 3959
Japan: +81 36 8908677
Americas: +1 760 476 3962
Europe: +1 760 476 3961

2. 危険有害性の要約**GHS 分類**

引火性液体	区分 2
吸引毒性	区分 1
皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3

水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

ラベル要素

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225 - 引火性の高い液体及び蒸気
 H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 H315 - 皮膚刺激
 H336 - 眠気又はめまいのおそれ
 H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き - 安全対策

取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること
 環境への放出を避けること
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙
 容器を密閉しておくこと
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること
 容器を接地すること／アースをとること
 火花を発生させない工具を使用すること
 静電気放電に対する予防措置を講ずること
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること

注意書き - 応急措置

特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を見よ)
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること
 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること
 無理に吐かせないこと
 火災の場合: 消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること
 漏出物を回収すること

注意書き - 保管

施錠して保管すること
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

注意書き - 廃棄

内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

その他の危険有害性

該当しない

3: 組成及び成分情報**化学物質**

Chemical name	Weight-%	化審法 - 日本既存及び新	安衛法番号	CAS No.
---------------	----------	---------------	-------	---------

		規化学物質		
Isooctane	90 - 100%	(2)-8	Present	540-84-1

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない。

労働安全衛生法

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係)

Chemical name	通知対象物質	閾値(%)
Isooctane 540-84-1	通知対象物質	1

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置**応急措置****一般的なアドバイス**

治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。直ちに医師の診断/手当てを受けること。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。

眼接触

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は目を大きく広げてそのままにすること。受傷部をこすらないこと。コンタクトレンズを着用している場合は外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けんと多量の水で洗うこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。吸引性呼吸器有害性 - 肺に侵入して障害を引き起こすおそれがある。自発的に嘔吐した場合には、誤って汚物が気管に入らないように頭を腰より下に下げる。直ちに医師の診断/手当てを受けること。

症状

呼吸困難、咳および/または喘鳴、めまい、高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

応急措置をする者の保護

すべての着火源を排除すること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。

医師に対する特別な注意事項

吸引する危険があるので、他の毒性物質の存在によりリスクが正当化されない嘔吐をさせたり胃洗浄を行ったりしてはならない。

5: 火災時の措置**引火性特性**

引火性が高い：熱、火花又は炎で容易に引火する。容器が熱せられると破裂するおそれ。多くの液体は水より軽い。

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素(CO₂)、水噴霧、耐アルコール泡消火剤。

大規模火災	警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	発火のリスク。製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。燃焼残留物や汚染された消火水は現地の規制に従って廃棄しなければならない。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	<p>人員を安全な区域に退避させること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。全ての着火源を排除すること(近接区域は喫煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること)。フラッシュバックに注意すること。静電気に対する予防措置を講ずること。製品を取り扱うときは使用する全ての器材を接地すること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。</p>
その他の情報	その区域を換気すること。7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する予防措置	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	<p>リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器に移すこと。</p>
浄化方法	静電気に対する予防措置を講ずること。せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次危険有害性の予防	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
参照すべき項	詳細は8項を参考する。詳細は13項を参照する。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。静電気の放電、火災又は爆発を防止するために、この物質を移動するときは接地及びアース接続を使用すること。局所排気換気装置を併用すること。火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用すること。スプリンクラーが装備された区域に保管すること。包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。適切な表示のある容器に保管すること。可燃性物質の近くには保管しないこと。スプリンクラーが装備された区域に保管すること。個別の国内規制に従って保管すること。現地の規則に従って保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。他の物質から離して保管すること。
混触危険物質	強酸。強塩基。強酸化剤。
一般的な衛生注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。

8: ばく露防止及び保護措置

許容濃度

Chemical name	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Isooctane 540-84-1	-	-	TWA: 300 ppm

生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
技術的対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
個人用保護具	
眼/顔の保護具	密封性の高い安全ゴーグル。顔面保護シールド。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。耐薬品性エプロン。帯電防止長靴。
手の保護具	適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
呼吸器の保護	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
環境ばく露防止	情報なし。

9: 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質

Physical state	Liquid
Appearance	Clear
臭い	石油
色	情報なし
Odor Threshold	情報なし

特性	値	備考 方法
pH	No data available	
Melting / freezing point	No data available	知見なし
Boiling point / boiling range	97.7 - 98.9 °C	
Flash Point	-12 °C	
Evaporation Rate	No data available	知見なし
Flammability (solid, gas)	No data available	知見なし
Flammability Limit in Air		知見なし

Upper flammability limit	No data available	
Lower flammability limit	No data available	
Vapor pressure	55 hPa (41 mmHg) at 21°C (70°F)	知見なし
Vapor density	3.94 - (Air = 1.0)	知見なし
Relative density	0.69 g/cm ³	
Water Solubility	Insoluble	
Solubility(ies)	No data available	知見なし
n-オクタノール／水分配係数	No data available	知見なし
Autoignition temperature	No data available	知見なし
Decomposition temperature	No data available	知見なし
Kinematic viscosity	No data available	知見なし
Viscosity	No data available	知見なし
爆発特性	情報なし	
酸化特性	情報なし	
その他の情報		
Softening Point	情報なし	
Molecular Weight	情報なし	
VOC Content (%)	情報なし	
蒸気濃度	情報なし	
Bulk Density	情報なし	
Particle Size	情報なし	
Particle Size Distribution	情報なし	

10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし.
安定性	通常の条件下で安定.
Explosion Data	
機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	あり
危険有害性反応の可能性	通常のプロセスではない.
避けるべき条件	熱、炎及び火花.
混触危険物質	強酸. 強塩基. 強酸化剤.
Hazardous Decomposition Products	提供された情報に基づき知見なし.

11: 有害性情報

急性毒性

製品情報

吸入した場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。肺水腫を引き起こすおそれがある。肺水腫は生命に危険である可能性がある。気道刺激を引き起こすおそれ。眠気又はめまいのおそれ。
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。眼を刺激する。(成分に基づく)。
皮膚に付着した場合	繰り返しのおぼろげが皮膚の乾燥又はひび割れを起こすおそれがある。この化学物質または混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。
飲み込んだ場合	この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込んだ場合に誤嚥の可能性。飲み

込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。吸入すると肺水腫及び肺臓炎を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

症状

呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

Numerical measures of toxicity - Product Information

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている mg/l

未知の急性毒性 混合物の 100 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている

- 混合物の 100 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 100 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 100 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
- 混合物の 100 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
- 混合物の 100 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

毒性の数値尺度 - 成分情報

Chemical name	Oral LD50	Dermal LD50	吸入 LC50
Isooctane 540-84-1	> 2500 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 47.4 mg/L (Rat) 1 h

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性/皮膚刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 情報なし。

呼吸器感受性又は皮膚感受性 情報なし。

生殖細胞変異原性 情報なし。

発がん性 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報なし。

吸引性呼吸器有害性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12: 環境影響情報**生態毒性**

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

Persistence and Degradability 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

Mobility in soil	情報なし.
Mobility	情報なし.
Other adverse effects	情報なし.

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物	環境中に放出してはならない. 現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.
汚染容器及び包装	空の容器は火災および爆発危険有害性を有する。容器を切断、穴開けまたは溶接しないこと.

14: 輸送上の注意

IMDG/IMO

UN-No.	UN1262
正式輸送品目名	OCTANES
Hazard Class	3
容器等級	II
EmS-No.	F-E, S-E
海洋汚染物質 説明	この製品はIMDG/IMOが海洋汚染物質として記載している化学品を含んでいる UN1262, OCTANES (ISOOCTANE), 3, II, (-7°C C.C.), MARINE POLLUTANT

ADR

UN-No.	UN1262
正式輸送品目名	OCTANES
説明	UN1262, OCTANES, 3, II, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
Hazard Class	3
容器等級	II
Environmental hazard	Yes
Classification code	F1
トンネル制限コード	(D/E)

IATA

UN-No.	UN1262
正式輸送品目名	OCTANES
Hazard Class	3
容器等級	II
ERG Code	3H
説明	UN1262, OCTANES, 3, II

日本

国連番号	UN1262
正式輸送品目名	OCTANES
危険有害性クラス	3
容器等級	II
特例規定	UN1262, OCTANES (ISOOCTANE), 3, II, (-7°C C.C.), MARINE POLLUTANT

15: 適用法令

化学物質または混合物に固有の安全、衛生および環境規則/法令

国内規制**日本****化学物質排出把握管理促進法(PRTR)**

該当しない

労働安全衛生法**危険物**

労働安全衛生法施行令別表第1(第6条、第9条の3関係)

引火性物質

表示物質

安衛法表示対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生法規則第33条関係)

通知対象物質

安衛法通知対象物質：労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2および労働安全衛生規則第34条の2の4関係)

消防法：禁止、許可または制限の対象になっている物質の使用、取り扱い、および保管に関する要件を満たしていることを確認すること
引火性液体、第4類、第1石油類、非水溶性液体、危険等級 II、200L**化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律(化審法)**

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

国際規制

オゾン破壊物質(OD) 該当しない

残留性有機汚染物質 該当しない

輸出届出要件 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16: その他の情報

Prepared By Product Stewardship
23 British American Blvd.
Latham, NY 12110
1-800-572-6501

発行日 15-9-2016

Revision Date 22-1-2021

改訂記録 情報なし

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

Section 8: EXPOSURE CONTROLS/PERSONAL PROTECTION

TWA	TWA(時間加重平均)	STEL	STEL(短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候
c	発がん物質		

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



このSDSは、以下で特定されている供給者がUL SDSテンプレートを用いて作成したものです。ULは、このSDSに記載されている物質について、試験も、証明も、承認もしておらず、このSDSに記載されている全ての情報は供給者が提供したもの又は一般公開されている規制データ源から転載したものです。ULは、このSDSに記載されている情報の完全性に対しても、正確さに対しても、一切の表明も保証も行わず、さらにこの情報の使用に関しても、このSDSに記載されている物質の使用に関しても、一切の責任を否認します。このSDSのレイアウト、外観及び書式はUL LLCの著作物です。© 2014 UL LLC. 著作権所有。

安全データシートのおわり